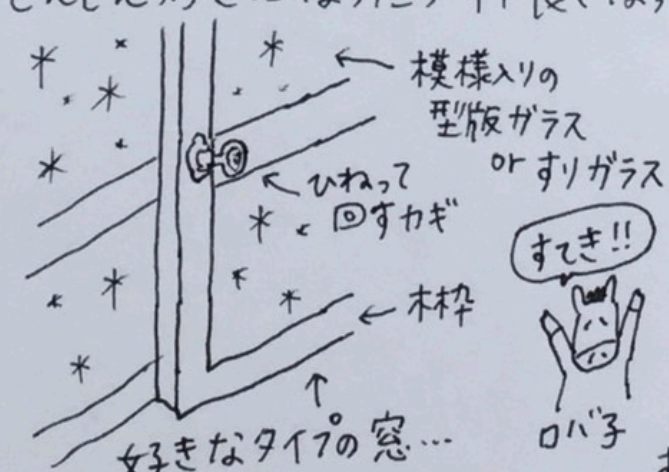


昔から古い建物や民家、間取り図などがとにかく大好きで、散歩しながらもあちこちの家を眺めるのが楽しい私。去年の春から、そうした物件大好きな人達の集うようなサイトのライター仕事もやっています。(なんと教会の友人から紹介してつながったという喜び!) 様々な物件を探して好みのを見つけたらそれを自分なりに愛でながら紹介する、というものなのですが、時々編集長さん直々に「ロバ子はこの建物好きそうだから書いてみませんか」「この物件の依頼ありまして書いてもらえませんか」と打診されることがあります。NOと言えない性分のため「いいですよ!」と引き受けたものの、なかなか愛でづらかったり、どう表現しよう...と苦戦することがあります。しかし物件のすみずみまで見て、住環境を確認して...と味わいつつ書いていくうちに、段々と愛着が湧いてきて、好きなポイント、褒めポイントがポロポロ出てきて最終的にはすごく好きになってる...ということがよくあります。無理矢理でも良い所を見つけ、そのうち深い愛へ...面白いですね。でもこれ、人間関係でもよくあることだなーとふと思いました。最初印象があまり良くなかったり苦手かも...と思っていたのが、接しているうちに意外な面を知ったり良い面を知ってどんどん好きになったり仲良くなったり...。深く知ることは

# まきばでひとやすみ

その人の良い面を沢山知ることでもあるなあと思います。そして、大人であれ子どもであれ「良いな」と思ったことはちゃんと伝えた方が絶対いいなと思うのです。先日、パン屋さんのレジでいきなり「グロー、すごくステキですね!」と褒められびっくりと



同時に、とってもハッピーな気持ちでその後過ごせました。何かを褒められて嫌な気持ちになる人は多分いません。良いな、と思ったことは素直に表現する、相手に伝える。それだけで愛や優しさは伝染していくのではないのでしょうか。